

防災だより

平成26年3月第21号
下田市市民課防災係
Tel.0558-36-4145

自主防災力を向上させよう！

阪神・淡路大震災では、生存者を救出できたのは、大部分が地震発生から3日目まででした。

このような傾向は他の大地震でもみられ、地震発生から最初の3日間は、人命を救助するために非常に重要な「**黄金の72時間**」と呼ばれています。

人命救助に最も大切な地震発生後の72時間を中心に、県、市町村、防災関係機関などでは、人命を救う応急活動を最優先に行います。しかし、想定される南海トラフ巨大地震では、静岡県内の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行きわたらないことも想定されます。そのため、地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。

昨年4月には「下田市自主防災会連絡協議会」が設立されました。市内48自主防災会が、お互いの情報を共有し、災害時に協力できるよう連携を図っております。

いざというときに地域で活動できるよう、お住まいの自主防災会の活動に積極的に参加しましょう。

◆津波避難訓練を実施しました。

平成26年3月9日、市内の自主防災会で、津波避難訓練が行われました。各自主防災会で設定した、一次避難場所までの避難経路や避難場所までの到達時間を確かめ、避難の際の課題を検証しました。

また、山間部の自主防災会では、山津波(土砂災害)に備えるため、危険箇所等を確認しました。



下田地区で行われた津波避難訓練の様子
(下田幼稚園前津波避難施設)



◆下田市が整備した避難路について

市では、各区からの要望等を受け、2箇所の避難路を整備しました。その内容を紹介します。

1. 下田幼稚園前津波避難施設

- ・下田幼稚園前（海拔 15m）から大安寺上の元ゲートボール場（海拔 32m）へ上がる避難階段（延長 70m）を整備しました。
- ・事業費：34,457,000 円

2. 小山田避難路

- ・西本郷三丁目の小山田地区から市道敷根 1 号線へ繋がる道（延長 95m）を整備しました。
- ・事業費：1,718,850 円

◆各自主防災会で整備した避難地・避難路について

各自主防災会では、市の補助金を活用して、避難地・避難路を整備しています。東日本大震災後に整備した避難地・避難路を紹介します。

1. 田牛区自主防災会

- ・てんじん山避難路整備（手摺り設置）
- ・トバ山避難路整備（階段設置）

2. 中一区自主防災会

- ・神明神社避難地・避難路整備（階段・手摺り・転落防止柵設置）

3. 住吉区自主防災会

- ・武山荘跡地避難路整備（階段・手摺り・転落防止柵設置）

4. 原田区自主防災会

- ・白浜大浜海岸避難路整備（階段・転落防止柵設置）

5. 板戸区自主防災会

- ・市道浜条 1 号線避難路整備（手摺り設置）

6. 吉佐美区自主防災会

- ・吉佐美 1 1 組、1 3 組避難路整備（階段・手摺り設置）

7. 連台寺区自主防災会

- ・天神神社避難路整備（階段・手摺り設置）

8. 弥七喜区

- ・長楽寺上避難路整備（階段・手摺り設置）

上記以外でも各自主防災会で避難地・避難路を整備しています。いざというときのために、地域の避難地・避難路を把握しておきましょう。

◆防災用のヘルメット及び救命胴衣の購入費補助事業について

平成 25 年 10 月から防災用ヘルメット等購入費補助制度を開始し、平成 26 年 3 月 14 日現在、222 件の申請があり、延べ 460 人の利用（ヘルメット 398 個、救命胴衣 266 着）、補助額合計約 131 万 2 千円となっております。平成 26 年度も引き続き事業を行ってまいりますので、積極的にご利用ください。

◆「地域防災課」の新設について

平成 18 年度から市民課“防災係”で防災、消防、交通安全等に当たってまいりましたが、市民の安心・安全強化を目的に、平成 26 年 4 月から新たに「地域防災課」として課体制で取り組んで行く事となりました。庁舎内の位置や電話番号は変わりませんので、防災等に関して不明な点などありましたら、お気軽にお尋ねください。今後もよろしくお願いいたします。

(注:メールアドレスだけ、bousai@city.shimoda.shizuoka.jpに変更となります。)